

## 修学旅行で改めて見えた2学年の成長 Part2

### ～「共律協援」のスローガンの下、

### みんなでがんばった修学旅行～

実行委員長の伊藤寛菜さんが、最後の帰着式でこの修学旅行の成果と課題を次のように述べていました。成果としては

①5分前行動ができたことでたくさん充実した時間が過ごせたたくさんの楽しい思い出をつることができたこと。

②自分の係の仕事に責任をもって声かけをしながらみんなに協力してもらったり、協力したりしてお互いを思い合って果たせるようになったこと。

課題としてはスローガンの達成度は80%だったと述べていました。残り20%の課題は、

①実行委員からの声かけがあって、各係の声かけをしている人が多かったこと。

②注意されていたことに対して応え切れていない場面があったこと(黙食など)。

→しかし2日目の昼食は完璧に黙食ができていたこと。

以前よりも、本当にたくさん成長できましたが、2回目の1月にある修学旅行では、実行委員が声かけをせずとも、各係がさらに高い意識をもって、係の責任を果たしていくことを課題として述べていました。

今回の修学旅行の引率責任者であった教頭先生からも「この修学旅行では本当にたくさんの成果があり、2年生の先生方もみなさんの成長ぶりを見てすごく誇らしい顔になっていました。しかし、スローガンのサブテーマにある『史上最高の思い出』にするためには、これから



萩市内の明倫学舎の門の前で「はい、チーズ!」

ら過ごしていく中で修学旅行をふり返ったとき、自分たちで共律協援の力が付いて成長できたと言えるようにしていくことが大切だと思います。」とおっしゃっていたように、この経験を様々な学校生活の場面に生かしていくことが必要だと思います。長瀬先生から早速提案がありました。「明日の朝から8時20分までに全員が教室に入って、8時25分には全員が着席して腰骨タイムの時間を静かに過ごせるようにしませんか」と。高い意識をもつことができるみなさんなら「絶対できる」という先生たちの思いです。これからはリーダー学年として「言ってることとやることがモデルとなり一致できるようにしていくこと」が求められます。1日の生活のスタートをみんなで気持ちよく過ごせるように、この取組も高い意識で継続していけるようにがんばってい

きましょう。

2回目の修学旅行は1月21日(金)に大刀洗平和記念館での平和学習と門司港レトロ地区でのテーブルマナー研修及び班別自主研修となっています。「史上最高の思い出」となる取組をこれからも継続し、リーダー学年としての力をつけていき、たくさん成長した姿を見せてくれることを期待しています。

最後に、この修学旅行を中心となってがんばってみんなを引っ張ってくれた実行員のみなさん、本当にお疲れ様でした。実行委員のリーダーシップのお陰で、このように素晴らしい修学旅行ができました。そして、それに協力し支えることができた2学年全員のフォロワーシップでこれからもリーダーを支える素晴らしい集団になっていくようにがんばりましょう。



海の幸、山の幸がとっても美味しかった夕食!



海響館のクリスマスリースとっしょに!

絶景スポットの角島大橋とっしょに!



重田先生も  
はい、チーズ!



カモンワーフのふぐとっしょに「はい、チーズ!」

中心となってがんばってくれた実行委員会の  
みなさん。本当にありがとう!!



せーのっ、イエイ!!

いつもステキな写真をありがとう  
ございます。カメラマン肥塚さん!



添乗員の森永さんと河津さん

楽しい旅をありがとうございました!

## 始業式1月11日(火) もってくるもの

冬休みの宿題(数学のワークと冊子, 英語のプリント, 自学ノート10ページ) 冬休みの生活心得  
通知表, 筆記用具, 体操服(大掃除) 安心安全に有意義な冬休みをすごしましょう!!